

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児通所支援事業所 ちゅらハウス2号館		
○保護者評価実施期間	令和7年2月 10日		～ 令和7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年2月27日		～ 令和7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に対してペアトレを行っている	ペアトレ会の開催日をメールやSNSを通して連絡し、また、ポスターを作成し貼っている	月一回のお便りにも乗せ、保護者へ周知していく
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、訓練を行っている	毎月訓練の内容を変えて行っている。実際に避難する場所、また、指定避難所までの経路確認を行っている	大規模災害も想定した訓練を行う
3	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮ができて いること	利用児・保護者それぞれに適した方法で行っている。保護者に関しては連絡帳や電話・メールを通している	子ども・保護者の状態を確認しつつ、その都度あった配慮を行っている

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	完全バリアフリーではない事	車椅子がギリギリ通る出入口(門の幅)と、スロープの高さ	門の幅を車椅子が通りやすくするため幅を広げること。スロープを緩やかな高さにする工夫が必要
2	法人として年一回の保護者会のみがあること	計画性をもって行っていないこと	計画をたて、保護者に発信すること
3	学童クラブや児童館と交流する機会が少ない	交流する場所が決まっていること	交流する場所(児童館など)を増やしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障がい児通所支援事業所 ちゅらハウス2号館

公表日 令和7年3月25日

利用児童
数19名 年月日

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	3	1		車椅子利用児の身体が大きくなっているためスペース的に厳しく感じる。体が大きくなるにつれ、活動するには少し狭いかなと感じる	保護者に説明を行う
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	6			スタッフが何名いるかわからない	改めてスタッフの配置人数を報告した
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	4	3	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	7	1	1		学童クラブや児童館との交流する機会を増やしていく
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16						
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16						

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3			アセスメント以外では助言という感じはあまりなかった	面談以外でも相談できるような体制を整える
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	7	2	1		保護者会が少ないのか 今年度は実施を予定している
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	2		3	本人がどう感じているのかはわからないが、同じ顔ぶれなので認識していると思う	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1		3	いつも助かっています。給食もだして頂いたり、ありがとうございます。	保護者のニーズに沿えるよう支援します

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	障がい児通所支援事業所 ちゅらハウス2号館		公表日 令和7年 3月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	ワークルーム・プレイルーム・テラスそれぞれ目的に沿って使用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	長期休み・振替休日・職員の休みの時は、他館からヘルプを要請し支援するなど工夫をしている	ハローワークに求人募集を出している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	利用児にわかりやすい環境を整え	避難経路に段差があるため、今後、改善をしていく予定である
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	清掃時間を取り組んでいる。それぞれの活動に合わせ空間作りを行うようにしている	園庭の掃除も取り入れるようにする
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		カーテンや敷居を利用し居場所づくりを行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		共有はできている。学校終了時間前に行っている	有給などでお休みした職員がいた時は、翌日に再度全員で行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎年実施している。	アンケートに記載されている保護者からの声に対し真摯に一つ一つ改善を行うと同時に、職員間の情報共有も行う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		振り返りの時間やミーティングなどで出た意見は、改善を繰り返し行い、業務がやりやすい工夫をしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者委員を設置している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		実施している	施設内外の研修参加を継続する
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページ上で公表をしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		実施している。	利用児の声、また状態を確認しながらアセスメントを来ない、サビ管が保護者と面談のうえ計画を作成している。利用児によっては保護者のニーズが優先になることもある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画書作成前に職員間で話し合いをしている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		実施している	使用できていない部分での課題を見つけ対応していく

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		個々にあった支援内容の設定を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		法人として基本プログラムがあり、それに沿って行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		プログラム担当職員は固定しているが、毎回内容はかえ、固定化しないようにしている	日々によって利用児の状態が違うため、その日の状態に合わせてプログラムを行う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		サビ管が計画を作成し、職員間で情報共有を行い支援を実施している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		業務終了スタッフがいる時はできないが、出来る時は必ず行っている。	職員の退勤時間により翌日のミーティングで必ず行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日、記録はとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4		基本活動を中心に、活動の組み合わせを行って支援をしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		必ず意思確認を行うようにしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		サビ管が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		担当者会議などを行い、関係機関と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎時に学校との情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	保護者から聞き取りを行い、相談支援員や他事業所との情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		相談支援員、保護者、学校の就労担当職員と就労先とで会議を来ない情報提供をしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	児童発達支援センターが石垣市にはないが、研修などには参加をしている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		月に一度行っている	交流する機会を増やしていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		参加している	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		電話やメール、連絡帳などを活用して共通理解を行うように工夫している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		ペアトレ会を定期的実施している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		保護者会や面談などで説明を行っている。必要に応じて、その都度説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談前には子どもの意思確認を行うようにしている。面談では保護者の意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		説明を行った後に同意を得るようにしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者から相談があった場合は実施している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	法人では年に一回実施している	保護者だけではなく、兄弟も含め交流できる機会を計画する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情解決委員会を設置し体制を整えている。苦情があった時は、全職員で話し合いをし情報共有を行って、保護者へ説明を行い、時間を開けず対応に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月1回のお便り発行と同時に、メールなどでもお知らせをしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報に繋がる書類などは持ち出し禁止としている。廃棄する時はサビ管が、シュレッターにかけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		ご本人様に伝わりやすい方法で行っている。また、ご本人様に聞かれたくない内容などは、電話やメールなどで保護者に情報を伝えている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		法人として実施している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルを策定し、支援員・保護者に周知している。	保護者への周知の工夫を行う
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		月に一回訓練を実施している	大規模災害時の訓練を行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		定期受診後に確認を行うようにしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	4		医師の指示書に基づき対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2	マニュアルを作成している	職員間で説明を行い周知をする。研修に参加するようにする
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	家族に説明はしている	家族への周知のため、数回行う必要がある

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		情報共有するとともに、全職員で話し合いをしている	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		毎年行い、全職員が参加している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		障がい特性を踏まえたうえで、話し合いをし、利用児・保護者に説明を行い了解を得て計画書に記載している	